

|       |         |      |     |    |   |
|-------|---------|------|-----|----|---|
| 授業科目名 | 音楽療法演習Ⅰ | 担当形態 | 演習  |    |   |
|       |         | 開講学期 | 春学期 |    |   |
| 担当教員  | 栗林 文雄   | 単位   | 1   | 年次 | 3 |

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

ストレッチ活動やヨガを通して身体の筋力を養成し、呼吸を整える体験をする。さらには発声の訓練をとおして効果的に響く自身の自然な声を習得する。これらを通して音楽療法士に必要なとされる身体の技術、声の技術を訓練する。授業形式は演習を中心とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

1年～2年において音楽療法関連科目を学び、音楽療法総論ⅠとⅡ、音楽療法各論Ⅰ～Ⅲ、音楽療法の技能Ⅰ～Ⅲが終了している学生。体調管理に留意すること。

事前・事後学習として、音楽療法全般についての基本知識の確認を書物により得る。

### ＝授業の概要＝

身体と活動、姿勢と声の関係、話し声と歌声、日本語の特徴、響く声、腹式呼吸、基本となる姿勢と臨床的応用などについての基本的知識を身につけ、さらに実際に運動を通して体をと整え、歌声の改造を行う。

### ＝授業計画＝

- 第1回 インTRODククション、コース、評価法の説明、ストレッチ、身体運動二人一組での活動
- 第2回 身体運動（運動可能な服装で参加）発声の基本、姿勢のたいせつさ。
- 第3回 発声の基本、姿勢のたいせつさ、歌唱指導。
- 第4回 ストレッチ、身体運動（運動可能な服装で参加）発声の基本、姿勢のたいせつさ。
- 第5回 身体運動（運動可能な服装で参加）発声の基本、姿勢のたいせつさ。
- 第6回 発声の基本、姿勢のたいせつさ、歌唱指導。
- 第7回 ストレッチ、身体運動（運動可能な服装で参加）発声の基本、姿勢のたいせつさ。
- 第8回 身体運動（運動可能な服装で参加）発声の基本、姿勢のたいせつさ。
- 第9回 発声の基本、姿勢のたいせつさ、歌唱指導。
- 第10回 ストレッチ、身体運動、学生による臨床的ロールプレイを行う。反省会をもつ。
- 第11回 ストレッチ、身体運動、学生による臨床的ロールプレイを行う。反省会をもつ。
- 第12回 ストレッチ、身体運動、学生による臨床的ロールプレイを行う。反省会をもつ。
- 第13回 ストレッチ、身体運動、学生による臨床的ロールプレイを行う。反省会をもつ。
- 第14回 ストレッチ、身体運動、学生による臨床的ロールプレイを行う。反省会をもつ。
- 15回 まとめと反省 演奏力テスト

### ＝テキスト（必携）＝

No. 1》

＜声＞を育てる 歌いたい人のためのボイスワーク

著者名：栗林文雄

出版社：一麦出版社

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

なし

### **=成績評価の方法と評価の基準=**

- 1) 出席点 50%を出席 5 点、欠席 0 点で評価する。
  - 2) 最終クラスにおいて臨床的な演奏テストを行い 1～5 点で評価し 25%とする。
  - 3) 自身のセラピスト体験の成熟度を 5～1 で評価し 25%とする。
- 合計で 100%となる。

### **=その他=**

期間中体調管理に注意すること。